交通アクセス

飛行機を利用	羽田空港	飛行機	米子空港	バス	七類港	船	菱浦（海士町）
	伊丹空港 出雲空港	飛行機	隠岐空港	バス	西郷	船	菱浦（海士町）
JRを利用	東京 大阪 博多	JR	JR松江駅 JR米子駅	バス	七類港	船	菱浦（海士町）
バスを利用	東京 大阪 岡山 広島 福岡	バス	JR松江駅 JR米子駅	バス	七類港	船	菱浦（海士町）

島根県立隠岐島前高等学校（全日制普通科）

〒684-0404　島根県隠岐郡海士町福井1403

tel 08514-2-0731　fax 08514-2-0035

ホームページに最新情報を掲載しています。

※お問い合わせは、ホームページのフォームをご活用ください。　※この学校案内は令和５年４月の状況をもとに作成しています。

https://www.dozen.ed.jp

真理に根ざし理想を掲げ、

新しいことに自ら進んで挑戦する。

隠岐島前高校

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

島根県立
隠岐島前高等学校
学校案内 2023

地域×世界

仲間と、先生と、地域の人と
たくさんの夢の種を集めよう。
本気になるから変えられる。
自分の、島の、世界の未来。

やりたい×できる

失敗を

共に称え合う

学校

校訓

真理　理想　進取

真理に根ざし理想を掲げ、
新しいことに自ら進んで挑戦する。

校長挨拶

校長　野津 孝明

激しく変動する社会は、その未来の予測を許しません。「既定の知識や技能だけでは、これから先の社会には対応困難」という考え方が一層強くなっています。そんな時代の中で本校は「失敗を共に称え合う学校」をスローガンに掲げます。これまで様々なことに挑戦し、豊かな自然と人情溢れる島前地域での交流と協働学習、地域から世界まで幅広い舞台での体感的な学習や研修、全国でも稀な公立塾と学校との連携・協働教育、先進的なICT環境など、前進・進化しようとする人を支援する体制を整えてきました。挑戦があれば必ず失敗があります。その失敗をしっかり振り返り、より一段高い挑戦を促す環境を整えていきます。多数の挑戦や経験を通しての気づきを大切に「主体的・対話的で深い学び」につなげていきます。「（グローバル×ローカル＝）グローカル人材」の育成をめざす本校で、同じ志を持つ仲間とともに、真理を追究し大いなる理想を掲げながら、想像を超える未来を創り出していきましょう。

生徒の多様性を活かした地域課題探究

本校には島前３町村に加えて日本全国・海外から生徒が集まっています。生徒は様々な活動を通して新たな価値観に触れ、多文化の中で協働することの大切さを学びます。また、地域に実在する課題にチームで取り組むことで、地域に対する愛着を持つだけでなく、地域の一員として何ができるかを考え、他者とつながりながら物事を解決することを体感的に学びます。学びの場は授業だけではありません。地域の祭りや清掃活動、保育園や福祉施設でのボランティア、あなたの行動範囲の全てが学びの場になります。

「グローカル」に挑戦ができる学校

地域から世界まで、幅広い舞台で挑戦できるのが本校の強みです。平成27年度に離島では初めて文部科学省のスーパーグローバルハイスクールに指定されました。現在でも、ブータンやミクロネシアをはじめとする世界の国々と交流しています。地域に飛び出す機会はもちろんのこと、地域から飛び出す機会も数多くあります。２年次には海外研修に行き、地域の課題と海外の課題を比較する機会があります。地域からの視点だけでなく、世界的な視点で物事を捉えることの面白さを学びます。地域でも世界でも、機会を活かすかどうかはあなた次第です。

「やりたい」を描くキャリア教育

一人ひとりの思い描く未来を実現するために、１年次から充実したキャリア教育を行います。地域の仕事人や起業家に加え、世界中の様々な分野で活躍する講師を迎えての特別授業や、体感型ワークショップなどを通して多様な生き方、働き方、価値観に出会い、視野を広げます。また、様々なチーム活動を通して自分の強みや得意分野、自らの興味関心や未来への志を明確にし、将来の方向性を見定めていきます。隠岐國学習センターの「夢ゼミ」とも連携したキャリア教育で、あなたの「やりたい」を応援します。

「できる」を引き出す学習環境

自ら問い続け、考え抜く力を育成するため、生徒の主体性を引き出す対話的な授業を積極的に導入しています。一方的に先生に教えてもらうのではなく、生徒同士が学び合ったり、地域や世界を学びの場にしたりして当事者意識を持って学ぶ環境が多くあります。隠岐國学習センターと学校が連携し、それぞれの進度に対応した教科学習ができるのも魅力です。また、学ぶためのICT環境も整備されています。先生と生徒の距離も近く、あなたの「できる」を引き出す学習環境があります。

OKI DOZEN HIGH SCHOOL

普通科

大学等の高等教育につながる
基礎的・基本的な内容の
定着を図りながら
学習内容を人生や社会の在り方と
結びつけて深く理解し
自らの将来を主体的に
描いていくことを目指していきます。

Deepening

学科の特色

普通科では、中学校までに学んだことをさらに深化させ、国語・地理歴史・公民・数学・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報といった「普通教育に関する各教科」を中心に学習し、大学、短大、専門学校や社会で必要とされる資質・能力を身につけます。

General Course

地域共創科

教科学習や
「総合的な探究の時間」による
探究的な学びとあわせて
地域でのより実践的・実際的な
学びを展開することで
「地域・社会と共にある学び」を
目指していきます。

学科の特色

地域共創科における２年次の「地域未来共創」と３年次の「グローカル未来共創」の授業は、それぞれ週６時間分あり、１日（地域共創DAY）をつかって地域に飛び出し、地域のリアルな現場で実践的・探究的に学びます。

Practice

Exploration

地域共創DAYのイメージ

実践から得る想いを共有し
振り返りを次の活動に活かす

単なる体験にとどめない
一次産業分野での貢献

実践することで見えてくる
課題の本質に迫る

教室の中だけでは絶対に実感できない
達成感

振り返りと共有から
もう一度、実践へつなげる

「地域共創DAY」について

地域共創DAYでは、隠岐島前地域ならではの伝統文化の体験や様々な事業所での探究的実践など、地域を共創する一人として実社会の中で学びます。その際、しっかりと振り返りの機会を設けることで、より主体的に、より自律的に考え、行動することができるように高校・隠岐國学習センターでサポートします。

Regional Co-creation Course

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

普通科と地域共創科

1年次は共通です。2年次、3年次で
普通科、地域共創科に分かれます。

学びの特徴

共通

総合的な探究の時間
（夢探究）での地域を
題材とした探究学習

普通科

文系・理系それぞれの
進路希望に対応した
バランスよい教科学習

地域共創科

地域共創DAYをとおして
地域のリアルな現場での
実践的・探究的な学習

進路

普通科・地域共創科ともに、
卒業後の進路は進学・就職など多岐にわたります。

Future

教育課程表

1年生共通

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年生	国語				公民		数学					理科						保健体育			芸術		外国語					家庭科		総合的な探究の時間	HR
	現代の国語		言語文化		公共		数学Ⅰ			数学A		物理基礎		化学基礎			生物基礎	体育		保健	音楽Ⅰ 書道Ⅰ 美術Ⅰ		英語コミュニケーション			論理・表現Ⅰ		家庭基礎			

普通科 理系

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2年生	国語				地歴				数学						選択A		選択B		保健体育			外国語						情報		総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理総合		歴史総合		数学Ⅱ			数学B			化学		④物理 ⑤生物		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ				論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ			
3年生	国語				選択C				数学						理科						保健体育		外国語							総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理探究 日本史探究 世界史探究				数学Ⅲ 数学探究A				数学C		化学			④物理 ⑤生物			体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅲ				

普通科 文系

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2年生	国語				地歴				数学						選択A		選択B		保健体育			外国語						情報		総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理総合		歴史総合		数学Ⅱ				数学B		①文学国語 ②ビジネス基礎 ③フードデザイン		①理科探究 ②情報処理 ③生活と福祉		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ				論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ			
3年生	国語				選択C				選択D			選択E		選択F		選択G		選択H			保健体育			外国語						総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理探究 日本史探究 世界史探究 情報Ⅱ／地域地球学				国語表現 数学探究A			数学C スポーツV			①文学国語 ②課題研究 ③食文化		①理科探究 ②ビジネス・コミュニケーション ③保育基礎		政治・経済 生活ビジネス教養			体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅲ				

地域共創科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2年生	国語				地歴				数学				地域未来共創						保健体育			外国語						情報		総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理総合		歴史総合		数学Ⅱ				地域未来共創						体育		保健	英語コミュニケーションⅡ				論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ			
3年生	国語				選択C				選択D			地域未来創造						選択H			保健体育			外国語						総合的な探究の時間	HR
	論理国語		古典探究		地理探究 日本史探究 世界史探究 情報Ⅱ／地域地球学				国語表現 数学探究A			グローカル未来創造						政治・経済 生活ビジネス教養			体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅲ				

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

地域とともにある多彩な学校行事

学校の中だけでなく、島の中、島の外、あらゆるところを巡り、経験することは高校生活１番の宝物になるでしょう。

Memories

歩こう会
自分の足で島を巡り、地域の宝を見つける春の校外学習。チームで協力し合い、絆が深まります。

文化祭
個性で観客を魅了するパフォーマンス、協力して作り上げるクラスブース。お互いの力を持ち寄って活かし合う、碧燎祭の始まりです！

地域共創実践活動
隠岐島前地域の様々な事業者のもとで活動します。地域の方々の温かさに支えられながら、自分の持ち味を活かして頑張ります。たくさんの発見があり、リアルな現場で実践的・探究的に学びを深めます。

2年生海外研修旅行
現地の方々との文化交流を通じて、国際意識が高まります。ホームステイ先のお母さんが言ってくださった「国が違ってもあなた達は私の娘よ。」という言葉が、忘れられません。

予餞会
卒業生への感謝の気持ちを込めて作り上げる予餞会は、少しさみしいけれど、高校最後の楽しい思い出にしてもらうため、後輩が一生懸命準備をします。笑いあり、涙ありの素敵な時間です。

見送り
この島だからこそできるフェリーに向かってのお見送りは、青い空に色とりどりのテープが舞って、お別れだけどとても綺麗です。私達は「さよなら」は言いません。この島が卒業してからも、いつまでも居場所であることを願い、こう言います。「いってらっしゃい」。

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

4月
- 始業式
- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 歩こう会
- 1年生地域探究キャンプ
- 生徒総会
- 中間試験
- PTA総会

5月
- 前期県総体
- 後期県総体

6月
- 期末試験

7月
- 球技大会
- 1年生地域共創実践活動
- 終業式
- オープンスクール

8月
- 始業式

9月
- 碧燎祭（文化祭・体育祭）（ヘキリョウサイ）

10月
- 中間試験
- 球技大会
- 生徒総会
- 失敗の日
- 探究学習成果発表会
- 1年生地域共創実践活動

11月
- 1年生大学・企業見学
- 2年生研修旅行

12月
- 期末試験

1月
- 終業式
- 始業式

2月
- 学年末試験
- 予餞会
- 卒業式
- 卒業生見送り
- 終業式

3月
- 離退任式

1年生地域探究キャンプ
宿泊や登山を通して学年間の仲を深め、探究プログラムによって探究スキルの基礎を学びます。

体育祭
１年で最も島前高が熱くなる日。仲間のために走って、仲間のために叫んで、一生忘れられない思い出になります。

火の集い
２日間にわたる碧燎祭（文化祭・体育祭）は、校庭の真ん中に立ち上る大きな火を、皆で囲んで終わります。青春を心に焼き付ける、島前高ならではの素晴らしい文化です。

特色ある島前高校の授業

夢探究Ⅰ

グローバルな視野で考えながら、地域（ローカル）で足元から実践していくことができる「グローカル人材」を目指し、１年次の夢探究Ⅰでは、「問いを立てる」「プロジェクトの進め方」等の探究の基礎を身につける地域探究CAMP、２学期には、学科選択にもつながるように、教科の知識をテーマに活かす普通科的な探究、地域での実践を軸に教科の知識を紐付ける地域共創科的な探究を実践し、３学期には、２年生になってから深めていくテーマを決めていきます。

夢探究Ⅱ

２年次の夢探究Ⅱでは１年次の３学期に設定したテーマを軸に、普通科では、チームをつくり地域の課題解決・価値創造を目指して活動し、対話を通して学びを深めます。地域共創科では、個人やチームで毎週木曜日１～６限まで使える地域共創DAYで濃厚な地域実践をし、所属するゼミで対話を通して、学びを深めていきます。２学期には、海外研修旅行に行き、それぞれの探究テーマを拡げ、そして深めていきます。

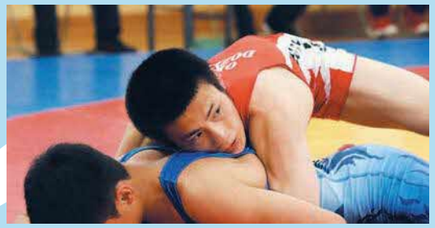
地域に根ざした部活動

運動部・文化部ともに情熱を持って
取り組んでいます。地域に見守られながら、
離島からではの強みを活かして、
日夜努力に励みます。

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

- レスリング部
- ヒトツナギ部
- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バスケットボール部
- 軟式野球同好会
- 地域国際交流部

Challenge



レスリング部

島前高校レスリング部は、経験者、初心者、島内生から島外生と多様な人たちが集まっています。全国大会にも毎年出場しており日々全力で練習に励んでいます。トレーニングや練習は辛いことが多いですが、自分達を鼓舞しメリハリを持った練習をしています。レスリングは体力面だけではなく、礼儀や人に対する感謝の気持ちなど精神面も鍛えることができます。ぜひ私たちと一緒に心・技・体を磨いていきましょう。

男子ソフトテニス部

男子バレーボール部

女子バスケットボール部

軟式野球同好会

地域国際交流部

ヒトツナギ部

私たちの主な活動は「ヒトツナギの旅」です。この旅では、島前の「人」の魅力を全国の中高生に伝えることを目的に、ホームステイなどの企画を行っています。ほかにも、地域のお手伝いや他校との交流、各種イベント企画、観光庁長官などの外部視察の方へのプレゼンなど、様々な活動を行っています。これらを通して、コミュニケーション力や主体性を身につけられるのがヒトツナギ部の特徴です。時に楽しく、時に苦しくなることもありますが、私達と共に乗り越え、誰よりも成長できる３年間にしてみませんか？

女子ソフトテニス部

女子バレーボール部

男子バスケットボール部

魅力溢れる
隠岐島前地域

本校を取り巻く３つの島はいずれも
多彩な個性と歴史を持った魅力ある
地域です。自然豊かな環境と
そこに住む方々が、学校と力を合わせて
子供たちを育んでいきます。

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

仲間とつくる寮生活
～三燈寮・鏡浦寮～

生活の基盤である寮は高校の敷地内にあり、ワークショップのスペースや自習室、冷暖房完備の居室、栄養バランスが考えられた３食の食事など設備が整った環境です。寮内のスペースでゲストを招いてトークイベントを開催したり、地域行事や地区活動に参加したりする機会も多くあります。多様な方々との交流を通して地域での暮らしを学びながら、寮生たちが主体的に、時に周囲の大人を巻き込みながら、よりよい寮づくりに取り組んでいます。

島前３島がまるごと学校

島前高校の学びの舞台は、学校がある海士町だけではありません。漁業と観光を主な産業とし、世界第１級の景勝地「摩天崖」を有する西ノ島町、畜産を主な産業とし、国の名勝天然記念物「赤壁」を有する知夫村と、地域資源が豊富である一方、少子化、高齢化、過疎化といった様々な地域の課題を先取りしている「課題先進地」である島前地域の特性を最大限活かした授業を展開しています。また、古くから地域に伝承されている神楽や民謡、俳句といった歴史文化や、全国から集まるやりたいことに本気で挑戦している大人たちとの出会いなど、教科学習の枠を飛び越えて、学べる魅力的な環境があります。

赤壁（知夫村）

摩天崖（西ノ島町）

明屋海岸（海士町）

Experience

島親制度

島留学生には地域と関わるきっかけとして「島親さん」が一人ひとりにつきます。島前３町村の20代から70代の100人もの方々が関わっています。休日に家を訪ねて畑の手伝いをしたり、家族と一緒に食事をしたりと、地域ならではの貴重な経験ができています。卒業後も交流を続け、島親さんを訪ねて来島する生徒も多数います。

Interview

寮長に聞いてみた！　寮長／梅木岳人・池田茉生

男子寮長：梅木岳人

女子寮長：池田茉生

―寮生活は楽しいですか？

[梅木]寮生活はとても楽しいです！学校が終わると友だちを誘って釣りに行き、釣った魚を持ち帰り自分たちで捌いて食べるのが日常です。入寮当初私はこの自由度の高さに驚愕しました。栗を拾ってきたり、タラの芽を摘んできたり、商店でおかしをサービスしてもらったり、島の全部と繋がっている気がして時たまにとんでもなく嬉しく思います。加えて、私にとって寮で過ごす３年間はとても濃くて、他と関係性を持ちながらたくさんの成長を与えてくれるこの寮が大好きです。

[池田]楽しいです。ただ、より「嬉しい」に近い気持ちのような気がしています。寮生活においての１番の喜びは、寮生と話をすることです。入寮する前には想定していなかったくらいにさまざまな人と、これまた想定していたよりもずっと深く関わり合えている自分に自分で驚いてて。たまに我に返って、すご、と思います。

―日々の生活で意識していかることはありますか？

[梅木]「関わり」を大切にしています。普段生活していて出会う大半の問題はその人との関係性の質によって解決します。寮内でも点呼の場で「誰が話すか」がとても重要で、信頼がない人は誰も真剣に話を聞いてくれません。逆に言えば、「気が進まない取り組みでも、この人のお願いなら聞いてやっていいかも」と協力してくれる場合もあります。私は、日頃から他の寮生や学校の先生、島の人との密なコミュニケーションを意識して生活しています。

[池田]まず自分の生活を整えることです（洗濯、部屋の整理整頓、睡眠…と本当に基本的なところから）。わたしがそのことの大切さに気づけたのは、「自分を大事にできない人は、相手も大事にできないよ」とハウスマスターさんに教えていただいたことがきっかけです。寮長としてみんなの前に居続けられるよう、足元を固めるイメージで目の前のこと１つ１つに丁寧に向き合おうとしています。自分で自分の状態を保つことは存外難しいです。

―中学生に伝えたいメッセージをどうぞ！

[梅木]コロナウイルスが流行っていた間、三燈はずっと窮屈にしていました。地域に出ることを制限され、コロナを理由にほとんどのイベントが中止になりました。ですが今年度になり、その窮屈な状況に幕開けが来たと感じています。寮生は今、変わってしまった環境に対応しようと努力し、何か三燈から価値を生み出せないかと本気で足掻いています。もし、そんな本気の高校生の姿を見たくて、三燈の一員として共に物語を進めたいと思ってくれる方、大歓迎です！

[池田]踏み出した分だけ、遠くに行けます。卒業後 親元を離れるのも「踏み出す」だし、自分と合わなさそうな人に話しかけることもまた「踏み出す」です。踏み出す先はどこでもいいので、恐かったらだましだましでもいいので、「踏み出す」をたくさんしてみてください。

Interaction

地域活動

地域の祭などの伝統行事、地区の運動会、各種イベントやお手伝いに参加します。また、生徒達自身で企画し、地域の清掃を行ったりイベントを開催したりします。

福祉施設ひまわりでお手伝い

漁師さんのお手伝い

地区運動会への参加

地区の祭り

島前神楽

本土の高校生との交流
（崎みかん選別のお手伝い）

高校と連携した公立塾

放課後になると、生徒たちの多くは学校のすぐ下にある「第２の学び舎　隠岐國学習センター」に向かい、自分たちの学びを深めています。

地域連携型公立塾
隠岐國学習センター

隠岐國学習センターは、地域総がかりで生徒たちそれぞれの自己実現を支援する学びの場として設立されました。主体的に自ら学ぶ力を育む「自立学習」と、対話や実践を通して自分の興味や夢を明確にしていく「夢ゼミ」の２つの特徴的なカリキュラムから構成され、島前高校と連携・協働しながら「グローカル人材」の育成を目指しています。

特色その１
自立学習

進路実現に必要な学力を身につけると同時に、自立的に学ぶ力を育成しています。生徒一人ひとりと面談を行い、学習の計画づくりや振り返りをサポートすると共に、習熟度に合わせ個別に学習ができる環境を設けています。

特色その２
夢ゼミ

夢ゼミとは、隠岐島前地域を舞台に、対話的、実践的、探究的に学び続ける場です。地域の人をはじめ、多様な人と関わりながら、時代を問わず守り・受け継いでいくものを学びつつ、小さな変化をつくり出す「学習者」および「小さな変革者」を輩出していくことを目指しています。

OKI-DOZEN HIGH SCHOOL

Dream

Advice

卒業生からのメッセージ

福井 美波　［2019年度卒］
バンタンデザイン研究所
ヘアメイク学部

――高校での思い出
中学までは10人程の学級だったので、高校で関わる幅が広がり、様々な考え方に触れられたのは、とても刺激になりました。世界が広がったことで、最初は焦りや挫折感も味わいましたが、逆に「自分は何ができるのだろう」「何が好きなのだろう」と考えるきっかけにもなりました。学習センターの夢ゼミでは、ファッションへの関心から「表現ゼミ」に入り、自分で衣装をデザイン・作成しました。自由に好きなものを表現し形にするのは、良い経験になりました。忘れられないのは、３年生の時の体育祭！分団ごとにデコ、ダンス、衣装を作り上げるのですが、私はその中で衣装長を務めました。３つの要素に統一感を持たせようと分団で決め、皆でアイデアを出し合ってそれまでに無いことに挑戦したので、本当に大変でした。その分やり甲斐もあって、表彰式で衣装の部１位をとれた時には、メンバーと一緒に号泣してしまいました。

――今取り組んでいること
これからは、その人に自信や勇気を与え、人生をより楽しくするメイクやファッションを学んでいきます。例えば容姿にコンプレックスがあっても、その人に合った提案で少しでもプラスに変え、より自分を楽しむための手助けができるようになりたいと思います。

――中学生へのメッセージ
たくさん悩むし、「正しいもの」を選ばなければと思うかもしれません。けれど、人に言われて何かを決めるのではなく、自分の「好き」や「やってみたい」という気持ちを貫くことが、その先に責任を持ち、諦めないことに繋がると思います。そして、もし自分が決めたことに後悔することがあっても、きっとそこでしか出会えなかったものや、楽しいことを見つけられるはず。楽しんだもの勝ちだから、自分の気持ちに自信を持って！

井上 佳奈　［2020年度卒］
公務員ビジネス専門学校
救急救命士学科

――高校での思い出
卒業した今、振り返ったときにまず思い出されるのは、何気ない日常の情景です。「また明日ね！」が当たり前ではなくなった今…。なにか特別なことをしなくても、友達と過ごす日々は本当に楽しかったです。お昼ご飯を一緒に食べたり、部活に打ち込んだり、暗くなるまで、話し込んだり…。毎日、笑顔が絶えなかったのは、みんなのおかげです。言葉で言い表すのは足りないけれど、一緒に過ごせた３年間は私にとってかけがえのない宝物です。そして、島親さんと一緒に囲んだ食卓も、島親さんの優しさと共に私の心に残っています。私のことを本当の家族のように迎えてくださり本当に嬉しかったです。島前に来て、本当に沢山の素敵な人に出逢えました！

――今取り組んでいること
今、私は福岡にある専門学校の救急救命士学科に通っています。元消防官・救急救命士の先生から救急現場の話を聞く機会が多くあり、目を背けたくなるような救急現場もありますが、救急救命士という仕事に対しての想い、そして、１人でも多くの人の命を救いたい！悲しむ人を減らしたい！という想いを再確認する日々です。将来、"あなたが助けに来てくれて良かった" と思ってもらえるような救急救命士になれるように、毎日授業の復習を欠かさずに取り組んでいます。

――中学生へのメッセージ
このパンフレットを見たのは、何かの縁かも知れませんね！島前高校の生徒は、出身地もバックグラウンドも様々です。そのため日々刺激を受けながら生活を送ることが出来ます。もちろん壁にぶつかることもあると思いますが、島前には壁にぶつかった高校生と真剣に向き合ってくださる人が沢山います。私は、その方々のおかげで、壁を乗り越えることが出来ました。
最後に私の好きな言葉のひとつを紹介します。

"空を飛ぶためには、抵抗がなければならない"

皆さんにとって、素敵な進路が見つかりますように…

中尾 優奈　［2021年度卒］
広島大学
教育学部

――高校での思い出
今振り返ると、特別な出来事というよりは普段の何気ないやり取りの数々こそが思い出深く、懐かしいです。友達とのおしゃべりで爆笑したり、テスト結果を競ってみたり、先生たちと仲良くなったり、未来に悩んだり……プラスなこともマイナスなことも、人生の中で"高校生"のときにしか経験できない何か、があった気がするのです。そういう小さな積み重ねが今の自分をつくってきたと感じるので、この財産は一生大切にしていたい宝です。

――今取り組んでいること
大学では、小さいころから関心のあった教育の分野を学んでいます。まだ一年なのでその内容は今後変わっていくかもしれませんが、専攻は言語、特に日本語です。言われてみればよく分からない日本語の構造、たくさんあって面白いです。
また、島で18年を過ごした私にとって、新天地は"初めて"であふれています。学校帰りにみんなでファストフード、とか憧れだったんですよね。これまでやったことなかったことを一つ一つ経験している最中です！

――中学生へのメッセージ
島前高は、"同じ入試を受けたある程度近い学力をもつ生徒"が集まる場所ではないのが１つの特徴だと思っています。様々な人との関わりの中で、色々な考え方ができるようになりました。何かにチャレンジするのもしないのも、どちらも一つの選択。勉強に打ち込むのも、部活に全力投球も、流れに身を任せるのも十人十色！自分らしい高校生活を送れますように。

田谷 航太郎　［2021年度卒］
静岡大学
農学部

――高校での思い出
島前高校を卒業してから高校生活を思い出すことが多くあり、それだけ充実した三年間だったと感じます。その中でも夢探究の授業は忘れられません。私のチームでは、島の生物多様性を脅かすセイタカアワダチソウやクズという植物をアロマオイルなどの商品にして、島での個体数を減らそうという目標を立てました。目標達成のため、学校の先生や地域の方、留学生と協力して活動する日々。たくさんの失敗をし、その度に試行錯誤して、最終的には全校生徒の前で発表させていただきました。その過程で、地域の方にアポを取ったり、学校の実験室を借りてアロマオイルを作ったり、英語の発表原稿を作ったり、普通ではできない経験と成長をさせていただきました。

――今取り組んでいること
大学で微生物や植物ホルモン、有機化学などを学んでいます。私には昆虫学者という少年時代からの夢があり、大学に入ってからは、植物ホルモンの昆虫に及ぼす作用に興味を持ちました。今では植物ホルモンの研究室に入るために勉強をしています。また、昆虫のサークルに入って、自分のしたいことに没頭できています。

――中学生へのメッセージ
島前地域は小さな地域ですが、多様な人や産業、自然であふれかえっています。私が自然に惹かれたように、皆さんにも惹かれる“なにか”があるかもしれません。島前高校では、自分の興味をとことん突き詰められます。それをサポートしてくださる先生や友達、地域の方がいます。一風変わった青春を送りたいと考えているのであれば、隠岐島前高校を選択肢に入れることを提案します。